

い ち よ う
公孫樹
 行田中学校だより
学べ 鍛えろ 夢を持って
 第5号 令和元年9月6日発行

《学校教育目標》
 よく考え自ら学ぶ生徒
 誠実で情操豊かな生徒
 心も体もたくましい生徒



「仲間を信じて」

校長 安藤 秀一

44日間の長い夏休みが終わりました。今年も猛暑が続き、健康が心配される日々でしたが、始業式に全校生徒が元気な姿で登校できたことをうれしく思います。◆さて、この2学期は体育祭に始まり、部活動の新人戦、合唱コンクールと、集団がまとまり大きな力が必要となる行事が続きます。集団どうしが技能を競い合う行事ですから、当然勝敗の結果がでます。誰もが勝ちたい気持ちから全力で臨みますが、人間一人の力はそれほど大きいものではありません。そこで、集団が力を寄せ合い、心をひとつにして行事に取り組むことが大切になります。◆そのために必要となる「人を信じること」は、実際は意外に難しいものです。なぜならば、「期待を裏切られるかもしれない」と不安を持った瞬間に、相手を信じる気持ちがすうっと消えてしまうからです。しかし、「人を信じること」ができれば、自分にとってのメリット（利点）もうまれます。◆メリットの一つ目は、「お互いの信頼関係が構築される」ことです。人から信頼されていると感じた人は安心感を持ち、心も開放的になります。お互いの信頼を感じることで、より強固な仲間意識が生まれます。そんな仲間が集まれば、一人一人の力の合算は人数以上の力となります。◆メリットの二つ目は、「相手を表面的な部分だけで判断しなくなる」ことです。信頼できない相手の態度や発した言葉にちょっとでも嫌悪を抱くと、人はすぐに不信感を持つようになります。一方、信頼できる相手の場合は、そんな態度や言葉にも瞬間的に見えている部分だけで判断せず、相手の本意を理解しようと努力できます。そうなれば、ちょっとしたことでも対人トラブルは回避することができます。◆メリットの三つめは、「相手も自分も幸せになれる」ことです。単純なことですが、人は誰でも自分を信じてくれる人に対しては安心して心を開くようになります。そこには、小さいながらも幸福感が生まれます。この幸福感こそが、「元気、勇気、やる気」を与えてくれるのです。◆人を信頼できず孤独にいるよりも、人を信頼して付き合っていく方がたくさんの恩恵を受けることができます。仲間を信じることで、一つ一つの行事が素晴らしい成果と思い出につながることを期待しています。



【よく噛んで元気になろう】 ~ 7/24 小中連携保健指導活動 ~



保健委員の生徒が夏休みを利用して下忍小学校へ出向き、保健指導を行いました。生徒たちは小学生に分かりやすい伝え方を工夫し、よく噛むことの大切さをエプロンシアターやクイズ形式で楽しみながら伝えました。その後、涼しい校庭で遊具を使ったりして一緒に遊んできました。



佐間天神社の八坂祭りが雨天により残念ながら中止になったため、今年のだんべ踊りは浮き城まつりのみの参加となりました。南小の児童にだんべ踊りを教える活動も小中連携教育の一環としてすっかり定着し、地域の子供たちも祭りを盛り上げる大きな力になっています。浮き城まつり当日は、台風一過の厳しい暑さの中、沿道の声援に励まされながら大きなかけ声と行中ジャンプで元気なだんべ踊りを披露しました。

【子供たちのやる気を引き出す】 ~ 7/27 南小・行田中PTAサマースクール ~



佐間公民館において南小PTAとの合同研修会を行いました。オープニングセレモニーとして本校有志生徒による合唱が披露され、大きな拍手に包まれました。研修では、元小学校の校長先生による子供のやる気を出させるコミュニケーションの取り方について講話がありました。

【資源を大切に】 ~ 8/2~3 資源回収 ~

各家庭や事業所で見られる段ボールやアルミ缶類は貴重な資源ゴミです。PTAの役員さんが各地域を巡回して、または家庭から運搬していただいて資源回収を行いました。回収した資源は業者が引き取り、23,810円に換金できました。本校の教育活動に大切にさせていただきます。



【みんなの力で】 ~ 8/17 親子除草 ~



PTAの協力により、全校登校日に保護者と生徒たちで親子除草を行いました。蒸し風呂のような暑さの中での作業で熱中症を心配しながらの活動となりましたが、各々で休憩を入れながら回収コンテナいっぱいの雑草を刈りました。参加いただきました保護者、地域の方には大変お世話になりました。

第70回行田中学校体育祭のお知らせ 令和元年9月21日(土) 午前8時30分より 開会式 (行田中校庭)
 *雨天延期の場合は22日(日)